

た通知があつた。

▲オギルビー、グラント氏の計 ミカドキジの命名者として我國の鳥學者間に知られて居たオギルビー、グラント氏 (William Robert Ogilvie Grant) は去年七月二十六日に六十一歳を一期としてレディング (Reading) の附近に於て死去された。氏は一八六三年に生れ一八八二年に初めて大英博物館動物學部に奉職し魚學部のガントナー (Dr. Gunther) 氏の元に居りしが一八八五年轉じてボードラー、シャープ氏 (Dr. Bowdler Sharpe) の元に來り一八九三年に動物學部のアツシスタントキーパーとなり一九一六年病により職を辭し隱退する迄鳥學の事にたづさはつて居つた。

性温厚にして良く後輩を指導し著書も多く大英博物館鳥類目錄の第廿二卷及び第十七並に第二十六卷の一部、同鳥卵目錄の第五卷等は其の著名なるもので雜誌

に投ぜし有益なる論文等は數ふるに遑なき程である。

氏は英國鳥學者クラブ、動物學會、飼鳥會及ローヤルソサイテーターの評議員で一時 Bull B. O. C. の編輯員をした事も有つた。氏は分類學上亞種の學問的價値を認めず分類を粗かにした傾向が有つた爲博物館員としては兎角の評も有つた。氏は又鳥類の保護やネーチュアリーリザーブに一方ならぬ努力をした一員であつた。

我國に産する鳥類にて氏の命名せるものは次の如く多きに上つた (主として臺灣産のものである)。

タカサゴイマシロ	<i>Carpodacus formosanus</i> Ogilvie-Grant.
アリヤンウン	<i>Pyrhula arizania</i> O.—G.
ハナドリ	<i>Dicaeum formosum</i> O.—G.
キバネダルマエナガ	<i>Suthora morrissoniana</i> O.—G.
カインヒザラ	<i>Ficus ater philous</i> O.—G.
ニイタカキタイダイキ	<i>Regulus goodfellowi</i> O.—G.
タクセンゴジウカラ	<i>Sitta corea</i> O.—G.



1111

W. P. Silliman Grant.

ダブリュ. アール. オギルビーグラント氏肖像

permission of the British Ornithologists' Union.)

アカハラゴジウカラ	<i>S. berlandi</i> O.—G.
キンバネホイビー	<i>Trochodryas morisoiwanae</i> O.—G.
カンムキチメドリ	<i>Yuhina brunneiceps</i> O.—G.
シメドリ	<i>Actiochera morisoiwanae</i> O.—G.
アリサンチメドリ	<i>Tropurus formosensis</i> O.—G.
ミヤマウグヒス	<i>Haeris acanthizoides concolor</i> O.—G.
コバネチメドリ	<i>Pterodytes goodfellowi</i> O.—G.
カハビタキ	<i>Xanthopygia effusa</i> O.—G.
キクチビタキ	<i>Isathia goodfellowi</i> O.—G.
アリサンビタキ	<i>Isathia junstoniae</i> O.—G.
ミカドキジ	<i>Tabophasis nikaho</i> O.—G.

(要司、蜂須賀)



▲本會會則變更 本會々員の會費は從來甲種は一ケ年
金五圓、乙種は金二圓五十錢の處本年度より甲種六圓、
乙種三圓に改正せられた。

カモイケ

おほりの、	おくの、	あけるこや
たけの、	つつから、	ながす、をな
いづも、	いきま、	たぐにくる
かひ、	ならされた、	しろあひる
おいけの、	かもし、	まねをして
あひるの、	あとを、	ついてくる
そつと、	みてみた、	ばんにんは
このとき、	ほりの、	とをしめる
あわてて、	ぼつと、	まひあがる
おほがし、	こがし、	なん十ぼ
つつみの、	かげに、	まつてゐた
みんなの、	あみに、	ひつかかる

(幼年の友第十五巻第一號)
大正十二年一月一日発行による